

平成 30 年度サービス第三者評価結果（公益社団法人 全国有料老人ホーム協会）

法人名	大和ハウスライフサポート	ホーム名	もみの樹 横浜鶴見	ID	3032
	評価機関	株式会社ケアシステムズ	評価日	3月15日	

スケール No.	自己評価	機関評価	スケール No.	自己評価	機関評価	スケール No.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	A	2.3.3	A	A	6.1.2	A	A
1.1.2	A	A	2.3.4	A	A	6.1.3	A	A
1.1.3	A	A	2.3.5	A	A	6.2.1	A	A
1.1.4	A	A	2.3.6	A	A	6.2.2	A	A
1.2.1	A	A	2.3.7	B	A	6.2.3	A	A
1.2.2	A	A	2.3.8	非	非該当	6.2.4	A	A
1.2.3	A	A	2.3.9	A	A	6.2.5	A	A
1.3.1	A	A	2.3.10	A	A	6.2.6	A	A
1.3.2	A	A	2.3.11	A	A	6.2.7	A	A
1.3.3	A	A	2.4.1	A	A	6.2.8	A	A
1.4.1	B	A	2.4.2	B	A	6.2.9	B	B
1.4.2	A	A	2.4.3	A	A	6.3.1	A	A
1.4.3	A	A	2.4.4	A	A	6.3.2	B	B
1.4.4	A	A	2.4.5	A	A	6.3.3	B	C
1.4.5	A	A	2.4.6	A	A	7.1.1	A	A
1.4.6	B	A	3.1.1	A	A	7.1.2	A	A
1.4.7	A	A	3.1.2	A	A	7.2.1	A	A
1.4.8	B	A	3.1.3	B	B	7.3.1	A	A
1.5.1	A	A	3.1.4	A	A	7.3.2	A	A
1.5.2	A	A	3.1.5	非	非	7.3.3	A	A
1.5.3	B	A	3.1.6	A	A	7.3.4	A	A
2.1.1	A	A	3.1.7	A	A	7.4.1	A	A
2.1.2	B	B	4.1.1	A	B	7.4.2	A	A
2.2.1	A	A	4.1.2	A	A	7.4.3	A	A
2.2.2	A	A	4.1.3	A	A	7.4.4	A	A
2.2.3	A	A	4.1.4	B	A	7.4.5	A	A
2.2.4	A	A	4.2.1	A	A	7.5.1	A	A
2.2.5	A	A	4.2.2	A	A	7.5.2	A	A
2.2.6	A	A	5.1.1	A	A	7.5.3	A	A
2.2.7	A	A	5.1.2	A	A	7.5.4	A	A
2.2.8	A	A	5.2.1	A	A	7.5.5	A	A
2.2.9	A	A	5.2.2	A	A	7.5.6	A	A
2.2.10	A	A	5.2.3	A	A	7.5.7	A	A
2.2.11	A	A	5.2.4	A	A	7.6.1	A	A
2.3.1	A	A	5.2.5	A	A	7.6.2	A	A
2.3.2	A	A	6.1.1	A	A	7.6.3	A	A

## 評価機関所見

◆優れた取り組みと思われる点	
スケールNo.	所見
1-4-7	職員の業務関連資格の取得にむけた支援として、法人共通の資格取得規程が定められている。現在、職員人数に対する保有資格数は8割を超えている。准看護師資格保有者が正看護師資格を目指す場合などには、シフトによって時間を作り学びやすい体制づくりと収入の保全を図り、資格取得後は正社員に戻りスキルアップにつなげられるように支援している。
2-3-3	各フロアに一律の予算配分をすることで、フロアの裁量によりそれぞれの入居者にあった行事などを企画しフロアごとに実施できるようにしている。最大3ヶ月分までをまとめて利用可能としており、フロアごとの情報共有や入居者の希望も盛り込み、職員がアイデアを出し合いながら入居者の喜びにつながるような取り組みとなっている。
2-4-6	防災訓練は年2回実施しており、自治会とともに防災 消防応援協力に取り組んでいる。さらに認知症カフェや、子ども食堂の実施、地域イベントの誘致などもすすめており、地域に密着した体制を整えている。災害時における高齢者や障害者の引き受け機能も備えており、避難時には地域の方に協力してもらえよう関係づくりに努めている。現在、備蓄は施設利用者+職員3日分であるが、地域からの引き受けも想定し備蓄を増やす計画を進めている。また、オール電化施設であるため停電時の対応も自家発電と蓄電設備を整えており、消防とは停電時の暖房の確保を想定した取り組みも行い防災対策を進めている。
4-1-4	入居者と家族に向けて定期的にアンケートを実施し意見や要望の把握に努めており、外部からの生活サービスも取り入れながら入居者の生活を支援している。出張コンビニやお買い物サロン、マッサージ、ネイルケアなどの外部サービスが提供されており、家族からも好評を得ている。外部サービスについては希望に応じて随時検討し、新しいサービスを取り入れるようにしている。
4-2-1	入居者とのコミュニケーションを図るための具体的な取り組みとして、コンタクトパーソン制度を取り入れており、担当者が居室へ訪問し、生活の中で必要なことや困っていることなどについて具体的に詳しく聞き取りをしている。入居者からの意向などは居室訪問報告書としてまとめ、フロア会議にて職員間で共有できるようにしている。また、コミュニケーション技術の向上にむけた研修も実施しており、研修受講後には報告書を提出し振り返りの機会が持てるようにしている。

◆さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点	
スケールNo.	所見
1-1-1	コンプライアンスについてのルールはグループ本社のサイトに明示されているが、もみの樹横浜鶴見のサイト上では、リンクがなく確認することはできない。入居者及び入居希望者への便宜、施設の姿勢を示す意味からも施設のサイトから直接リンクができるなど、わかりやすいリンクの工夫に期待したい。
2-1-2	館長による事業計画として、半期ごとに方針書が策定されており、方針ごとに管理項目(タイトル)、目標値、行動計画が定められている。しかしながら事業部門毎の計画としては策定されていないことから、介護、食事、生活等の部門毎に、より具体的な内容を取り入れた計画を作成するとともに各部門での共有、計画の進捗の定期的なチェックなど、職員全員が計画を推進する体制と仕組みづくりが望まれる。
6-3-2	認知症の入居者への対応について、認知症ケア研修を定期的に行い専門的な対応方法について職員が学ぶ機会を設けているが、専門医療機関との連携には至っていない。精神科医などの専門医と連携し、具体的な事例検討を行うなど、さらに職員の専門性を高めるような取り組みに期待したい。